

## 令和4年度睦会事業重点項目

### (1) 第2次中長期経営計画の確実な実践

令和4年度から令和9年度までの6年間を目途とした第2次中長期経営計画に基づき、「基本理念」「基本方針」を根幹として、法人経営の課題の解消を図りながら安定的な経営をめざすため、その確実な実践に努める。

#### ① 多賀の里本体事業所・結和・わさびっと統合に向けた取り組み

業務の効率性や類似性、重複する経費の節減等を勘案し、多賀の里本体事業所・結和・わさびっとの令和5年度統合に向けた取り組みとして、利用者及び関係者に対し説明を行いながら理解を得るように努める。

#### ② 共同生活援助の取り組み

ア 介護サービス包括型グループホームを利用する障がい者が減少してきている状況から、利用定員の減少を図る。

イ 老朽化による不具合のある介護サービス包括型グループホームについては、利用者に対し適正な家賃の賃借による快適な生活環境を提供するため、新たな物件を確保し切り替えを図る。

ウ 日中サービス支援型のグループホームについては、常に利用者の定員満床に心がけ、短期入所にあっては、利用の増大に努める。

#### ③ 利用者の確保

法人の経営は利用者の確保が基盤となるため、相談支援事業所と絶えず連携を図りながら障がい者の動向に注視し、定員割れを起こさないよう、その確保に努める。

#### ④ 利用者の他施設等への移行

利用者の障がい特性、支援度、疾病、年齢等に配慮し、他の介護保険施設や重度障がい者支援施設及び日中サービス支援型グループホーム等の利用の方が望ましいと判断される場合は、利用者や保護者に説明し理解を得ながら、他施設等への移行を推進する。

#### ⑤ 日中活動支援棟における支援の拡充

石上の園において、生活介護利用者に対する日中活動支援の拡充を図るため、支援棟を活用した支援の一本化を図る。

#### ⑥ 生産活動における作業の確保

作業実績や効率性等を勘案し、新規生産品目の開拓や、地域に密着したPR活動・営業に力を入れながら、実入りの高い作業量の確保に努める。

#### ⑦ 工賃の向上

生活介護の利用者と就労継続支援B型の利用者の区分を明確にしながら、就労継続支援B型の利用者の工賃が岩手県平均を上回るよう、その向上に努める。

#### ⑧ マンパワーの確保

正職員・臨時職員を問わず、求人への申込をしても求職者がいないという人材難の状

況にあるが、マンパワーの確保は欠かせないものであるため、次の取り組みにより、その確保に努める。

ア 福祉系学卒者等の若年者に対する早期の募集

イ 60歳以上の高齢者に対する臨時職員としての募集

ウ 人材紹介業者等の紹介による募集

⑨ 業務継続計画の策定

自然災害や新型コロナウイルス等の感染症が発生した場合等の業務の継続について、計画を策定する。

(2) 地域生活支援拠点整備における面的整備の構築

自立支援協議会と連携し、地域の障がい者等に対する福祉課題を掘り起こしながら、ネットワーク化を図るなどの面的整備の構築に努める。

サービス提供体制については、中核を担う相談支援事業所のあり方等について遠野市と協議を重ねながら、法人の独自性を打ち出せるよう、その構築に努める。

(3) 感染症防止に向けた取り組み

風邪やインフルエンザ、新型コロナウイルス等の感染症防止に向けて、マスク着用を含む咳エチケットや手洗い・うがい・アルコール消毒等の徹底を図りながら、発熱者の早期通院による受診に心がけ、重症化防止に努める。

(4) 系統的な運営

利用者に対する生活支援、作業支援及び生産活動（工賃支払いを含む）、通所利用者の送迎支援、各種行事の企画、職員体制等において施設・事業所間の連携を密にするため、本部機能を十分発揮した系統的な運営に資するよう努める。